A

鹿野まるごと"湯"ったり来る旅鹿野がもっと好きになる！

効果

- 交流人口の増加
  - 観光客増,地域が元気,活性化.若者が増える,子どもたちが自慢できる
  - 関係人口の増加,滞在できる場が生まれる
  - 旧気高郡の人々,住民が集える場が生まれる
- 点在する魅力施設,資源を効果的につなぐことができる(周遊しやすくなる)
  - 城下町での駐車場問題が解決される→集客増
- 食材の地域産物の利用率アップ
  - 長期滞在による周辺民間商店(個人)の利用
  - SNS,観光客や利用者がさらにお客さんを呼ぶ
  - 集客数→増
  - バラバラだった鹿野の情報が一元化されることで観光客が情報を得やすくなる
- ワクワクする町になる
  - 情報発信を集約することで観光客が最新情報を見つけやすくなる.各施設も入込や口コミなどを情報共有し課題を見つけやすくなる
  - イベント集約→町のPR
- 自然の景色が清らかでことのほか美しい町になる,山紫苑
  - 宿泊料だけでなくテナント料や利用料などの収益が見込める
  - 観光客が鹿野へ来やすくなる.鹿野の交通弱者(子供や高齢者)の問題も解決？

実現に必要なこと

- 駐車場までのアクセスどおの整備
- 個人商店も魅力アップの努力を
- 鳥取市と鹿野の良好な関係
- スキルのある人,マンパワー(継続する)
- お金
  - お金,維持管理・解体・交通→人件費
  - 解体費用,誰が主
  - 特設駐車場,有料化
- キャッシュレス化,多言語化,電子化
- 体験ができる場所,人,内容の検討
- 各施設の運営を誰がやるのか,民間？まとめて運営,それぞれ運営？
- 交通(周遊)
  - 駐車場からまちなかへの移動手段,レンタルモビリティの整備
  - トリベイのレンタサイクルを鹿野でも
  - 二次交通,Gバスの延伸
  - 交通手段の確保→高齢者への配慮
  - 利用しやすさ,動きやすさ(移動)→手段(スマートモビリティ,電動チャリ,魅力資源ツアーをどうつないでいくか
  - くるりみたいなルートバス？を回らせる
  - 浜村STに急行をとめる

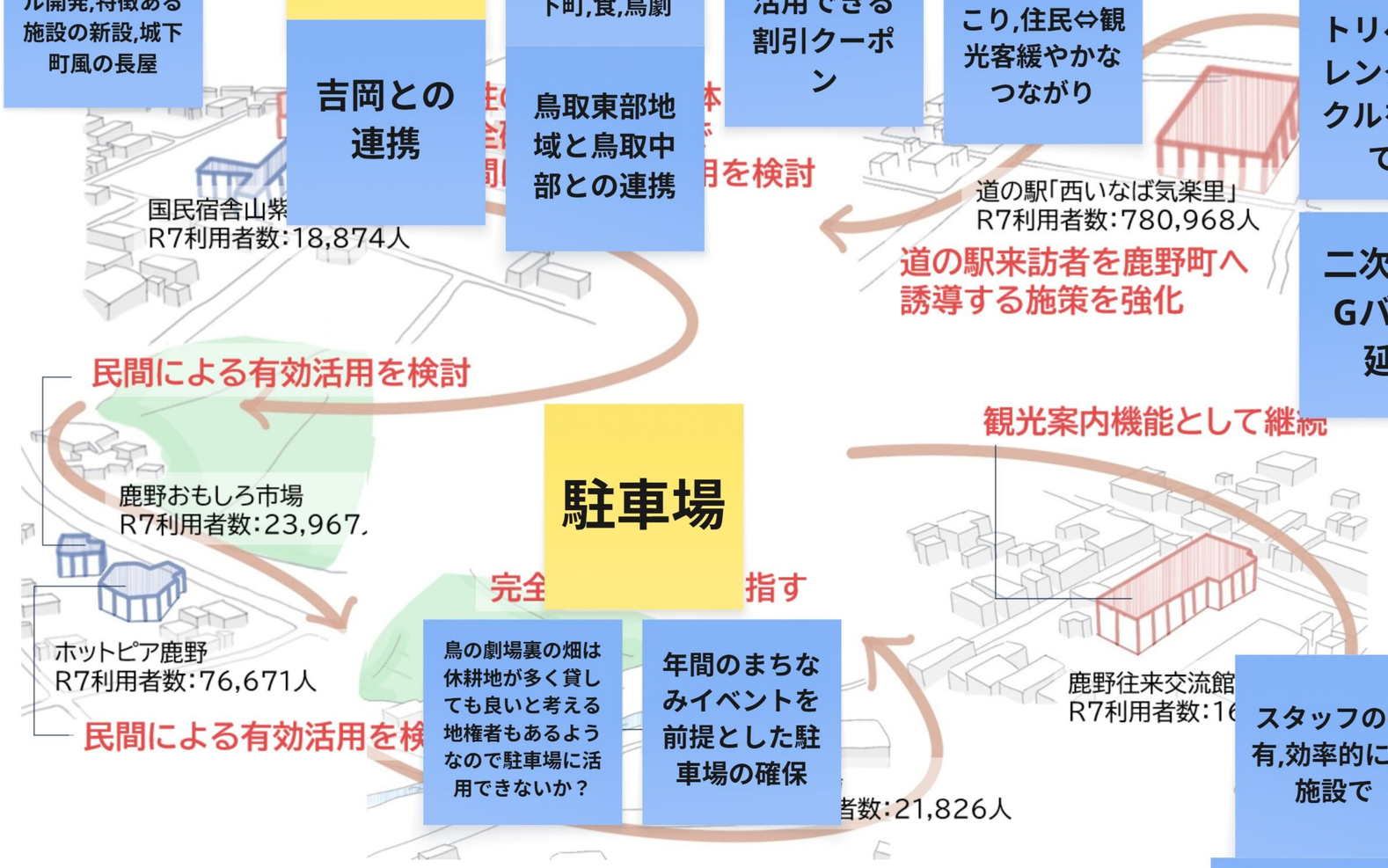
実現アイデア

山紫苑

- 隼labのような,温泉宿泊みたいな施設にしてほしい
- 観光利用だけでなく住民・市民・企業が利用できる施設
- 砂丘のマリオットをやめて鹿野に持ってくる,外国人
- 施設が古い,解体＋新築
- 災害時の一時避難所(滞在する場)
- 山紫苑をハブにすべての施設をまわる体験メニューをつくる
- 本館の解体→整地
- 健康診断を宿泊して実施する,保健センターも含めた活用
- 1号車の車庫を温泉付き車庫として山紫苑の敷地へもっていく
- 本館解体後,滞在型宿泊,滞在モデル開発,特徴ある施設の新設,城下町風の長屋

連携

- 吉岡との連携
- どう特徴をつけるか,とがった魅力,他にないもの,温泉,城下町,食,鳥劇
- 鳥取東部地域と鳥取中部との連携
- 鹿野地区で活用できる割引クーポン
- 地域住民のほこり,住民⇔観光客緩やかなつながり



- 鳥の劇場裏の畑は休耕地が多く貸しても良いと考える地権者もあるようなので駐車場に活用できないか？
- 年間のまちなみイベントを前提とした駐車場の確保

情報発信

- スタッフの共有,効率的に各施設で
- 道の駅きらり＋東の玄関河原,西の玄関琴の浦PR.イベント,旬な情報,リアルタイムにSNS活用
- はくと道の駅
- しかのHPを作り直す.予約サイト,地域特化のOTA

地域住民や団体ができること

- 応援団
- 利用する
- 町民の理解
- 住民の受け入れ意識,もてなし

B

～普段から人が集まれる場づくりから安心して暮らせる地域へ～

効果

食育,地産地消

交流

地域の事務が集まれば利用する人も1か所に来ればよく,利用者の効率化も図れる(総合支所の活用)

「世代間交流」と「地区外との交流」が生まれる.「孤独,孤立が減る」「地域が活気づく」

小さなまちの魅力を凝縮できる(小さいからできるを追求する)

防災

地域の防災拠点となりうる

防災の拠点

普段から人が集まる場ができる(「人の輪」「つながり」)

安心して暮らせる地域になる

スタートアップ等,企業が集まることで地域の活性化と可能性が広がる

人の交流が生まれる

人の集まる場所,きっかけ作り

総合支所2,3Fの活用,企業なりの事務所として活用できるとなると人が集まり地域の活性化につながる場合によってはアイデアの発信も期待できる

人が集まり「話し合う」機会が増える

実現に必要なこと

保健センター,調理室,トイレの改修.支所の改修

行政と住民一人ひとりが同じ方向を向く(子どもは財産)

車で来られない人の送迎

清潔感のあるトイレ,キッチン(が最優先)

保健センターの活用のしばりをなくす.
(誰でも何にでも活用できるようにする)

施設予約のしくみ(予約しやすい,QRコード,アプリなど)と広報,周知

施設＋プログラム(ソフト)を話し合う機会(実行委員会や窓口)

外遊びの機会の提供(自然

実現アイデア

保健センター,調理室を改修し料理教室ができるようになれば良い

子どもの居場所,子ども食堂

イベントスペース,ハードルの低いイベント

コンサート

保健センター,加工場増設,鹿野そばのPR拡大



地域間連携

調理室の充実

展示スペースとしてわったいな祭りの展示

保健センター(民間活用),調理場の活用,常に駐車場スペースも民間活用し毎日イベントでにぎわう場所づくり

体育館(トレセン),田舎と地域の交流拠点

保健センター,防災拠点とする.防災に関する行事を行うなど,拠点としての活用をする位置づけをする

複合施設として考える.入る人は募集する

保健センターの利用方法は保健活動以外利用できないのか

総合支所(2,3階)は水害時(浸水時)を想定し①住民の避難所,②支所機能の移転(1階から)としての機能を残す

地域の事務所を入れる(点在しているいろいろな事務所)

支所を複合施設に.地域活性化するために2,3Fに企業の事務所を入れ連携を図る(鹿野にはコンクリート造りがない)

支所,2,3F活用.常設展示場として鹿野に関係するものの展示等をする(集客,支所利用).喫茶コーナーもあれば

総合支所(2,3F),消防団,自主防災組織,自治会等の事務機能,協議の場として活用

支所⇔気高IC,4~5kmの道路(誘引力)

スマホ(アプリ)での施設予約システム

総合支所(2,3階)はまちづくり活動,NPO,市民活動のオフィス,話し合いの場所にする.学生の学習,図書館スペース(＋ネット,Wi-Fi)

地域住民や団体ができること

活用プログラムの提供(防災,外遊びなど)

イベントの手伝い

イベントのお手伝い,企画？

C

地域の未来は自分たちの手で
～歴史を伝えて観光客と地域住民が共存できる町～

効果

鹿野の観光客が増える

立ち寄る人が増える

若い世代が利用しやすくなる

きらりでイベントをすることで県外客を町中に誘導できる

鹿野全体の公共施設利用者が増えて活気が出る

イベントをすることで子どもや観光客などが楽しめる

地域活性化につながる

買い物がしやすくなる

おもしろ市場の機能移転すること

人と人のつながりの場が増える

新たな課題が見つかる→もっとよりよくすることができる

実現に必要なこと

住民への理解や運営方法

地域住民との協力

行動力(イベントをする回数を増やすなど)

イベントについて呼びかけや手紙をつくる

どのようなイベントをすれば人が集まるのか

経営者が必要になる

人手→2,30代の若い方に経営をしていただく

金

不安,老朽化,季節により安定性がない

実現アイデア

ホットピアや山紫苑の良さを伝えたい→温泉

春は桜,まつり,温泉,まちなみ

鹿野町へ誘導する施策が知りたい

きらりでイベント等目をひくような

交流館→鹿野の歴史をまとめた展示をする

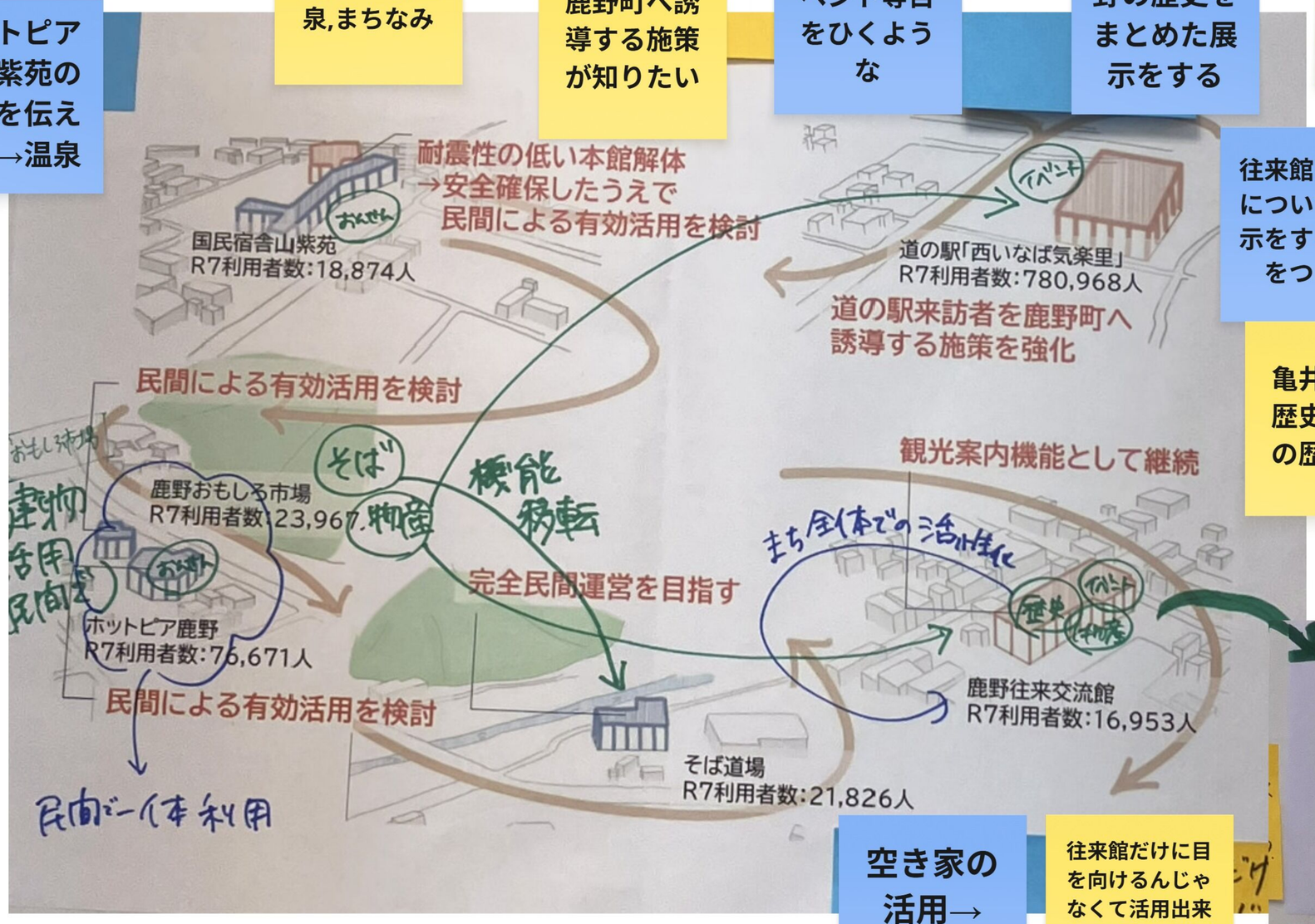
亀井さんや鹿野まつりの歴史

城下まちとして昔あった人々の生活などを伝えられる記録館,記念館みたいなスペース

往来館に歴史についての展示をする場所をつくる

亀井さんの歴史や鹿野の歴史など

子どもが参加できるイベントを交流館で企画する



駄菓子を売るおもしろ市場など

そば道場と気楽里に鹿野おもしろ市場を移す→スイーツ中心のカフェを新しく建設する

おもしろ市場をうつした空き地に建てる

空き家の活用→まちなか

往来館だけに目を向けるんじゃなくて活用出来たら寄る目的が増える

地域住民や団体ができること

地域住民が建物を積極的に利用していく

ボランティア活動,呼び込み,自分たちで

イベントのボランティアの募集に参加してボランティアをする

募金活動

D

広がれ！利用の幅！地元,公共,民間をつなぐのだ！

効果

地域の人が集まいやすい利用しやすい

民間利用によって利用の幅が広がる

官民連携によりどちらもの良いところどり可能

官民連携で官と民のいいとこどり

民間にとっても市にとっても利用していくことで利益がでる

バザーとか祭りとかカラオケ大会とかお酒販売とかなどなど泊まり込みとかできるかも？

民間による利用で施設の利用増加(今までよりも)

企業説明会開催など(希望)

貸付

保健センターが保健以外についても使えるようになる

(保健センター)市が持ち民に貸す→民間利用up,市は予算up

2,3Fを残すと災害非難ができる

日頃:子ども食堂,定期:イベント開催

実現に必要なこと

トイレ設備の改修(古すぎる)

企業の誘致,選定.利用方法の決定

地元団体の利用の場合の減免などの仕組みづくり

民間企業を探す

鹿野の人はもちろん,近辺の人が来てくれるようなイベントをする

保健センターの建物を使ってくれる民間企業を探す必要がある

やはり2,3F改修する必要がある

実現アイデア

保健センター,イベント利用

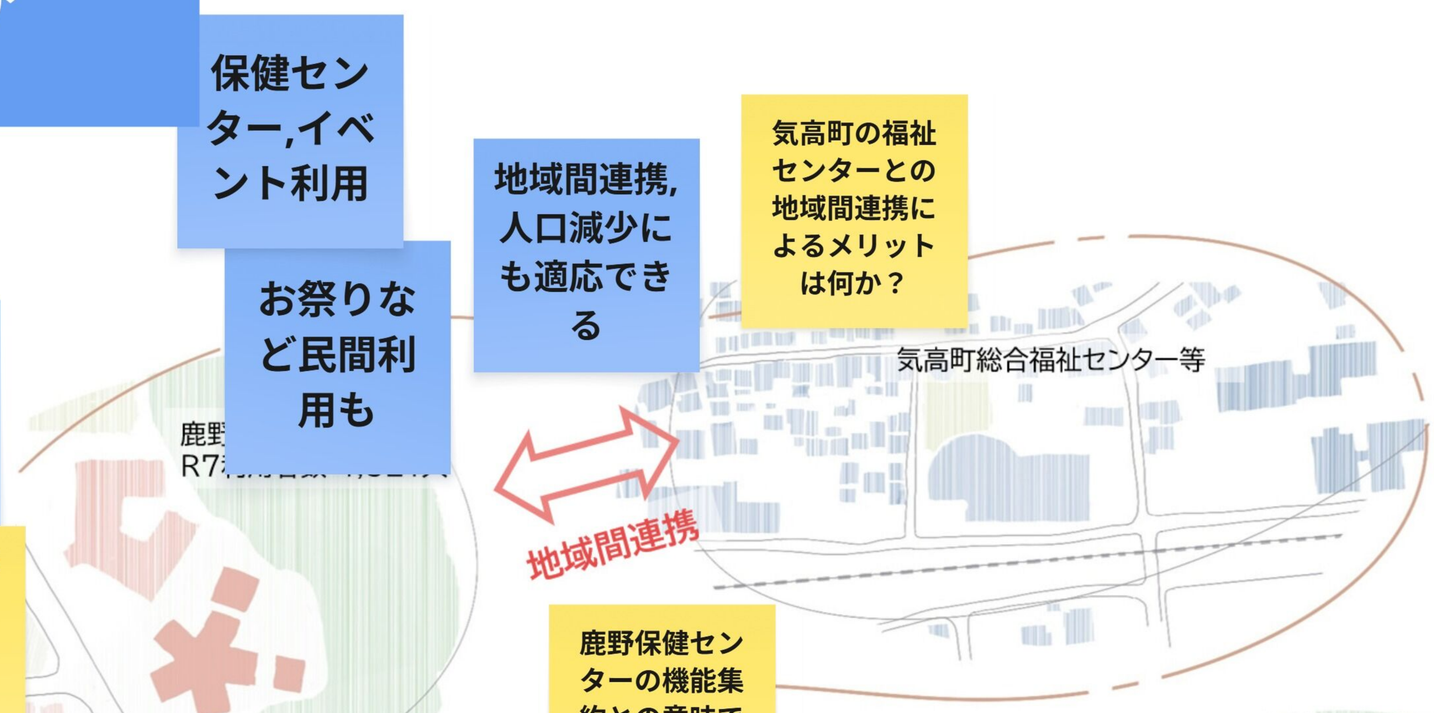
地域間連携,人口減少にも適応できる

気高町の福祉センターとの地域間連携によるメリットは何か？

お祭りなど民間利用も

保健センターに公民館機能を集めてかつ「保健センター」の名称を変える

保健センターの機能を庁舎に合併し保健センターの建物を公民館的扱いをする



調理室や和室が存在→保健に関わること以外にも使いたい

鹿野保健センターの一般利用を可能にする

鹿野保健センターの機能集約との意味での「地域間連携」？

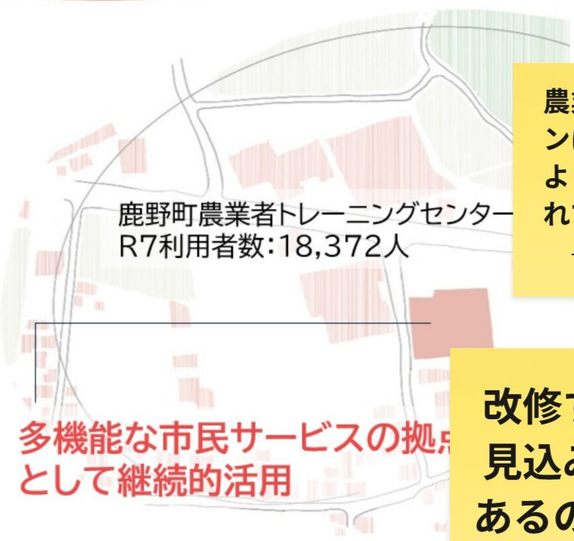
疑似コテージ

PPP官民連携

1Fを耐震改修して、安全性確保。2,3Fは利用停止

施設の形が面白くて楽しく使えそうだから

総合支所の2,3Fを素泊まりの宿泊施設にしたら良いのでは?(風呂は外で満たす



農業者トレセンは現在どのように利用されているのか→体育館

改修する見込みはあるのか?

トレーニングセンターを長期で使っていくなら耐震性はどうなのか,改修するのか(多様な目的で使ってそうであるため)

総合支所を2,3Fも使えるようにしても良いのでは?

使っていない部屋がいっぱいあってもったいない

支所2,3階,負の遺産にならないか?(これから予算増えることないのでは?)

浸水等で1Fが埋まると防災機能がマヒするのでは?

地域住民や団体ができること

団体ができること→幅広いイベントや集まりを行う

イベントを開催する

イベントを開催する参加すること